

参考文献

- 1) 磯野昌弘 (1981) 但馬地方西部のカミキリムシ. IRATSUME 5:28-35
- 2) 加野 正 (1982) 但馬におけるカミキリムシ採集目録. IRATSUME 6:36-41
- 3) 加野 正 (1985) 但馬のカミキリムシ (II). IRATSUME (投稿中)
- 4) 清沢晴親ら (1981) 図説長野県のカミキリムシ. 日本民俗資料館 東京法令出版
長野
- 5) 黒田 収 (1982) 氷の山周辺のカミキリむし分布調査. てんとうむし 8:153-166
- 6) 小島圭三ら (1969) 原色日本昆虫生態図鑑 I カミキリムシ編 保育社 大阪
- 7) 高橋 匡 (1980) 但馬地方昆虫目録 (予報第3報) IRATSUME 4:13-27
- 8) 辻 啓介 (1972) 兵庫県のカミキリ. 月刊むし 10:16-22
- 9) 日本鞘翅目学会編 (1984) 日本産カミキリ大図鑑 講談社 東京
- 10) 林 匡夫ら (1984) 原色日本昆虫図鑑 (IV) 保育社 大阪

筆者らは扇ノ山をはじめ、但馬地方のカミキリムシの分布調査を進めています。この地方における採集記録、資料などをお持ちの方は御一報下さるようお願いいたします。

ウスバシロチョウの訪花植物

谷角素彦・足立義弘

筆者らは、神鍋を中心に但馬地方でのウスバシロチョウの訪花植物を記録しているので、現時点までのデータを報告しておく。

シロツメクサ、ダイコン、ネギ、イチゴ (ストロベリー)、ハルジオン、ノイバラ、ヤブヅラミ、グミの1種〔以上白色系の花〕、キツネノボタン、イヌガラシ、キャベツ〔以上黄色系の花〕、ノアザミ、タニウツギ、ツツジの1種〔以上桃色系の花〕、ムラサキサギゴケ〔青色系の花〕。

以上であるが、ウスバシロチョウは、発生期に開花する植物なら、とくに選り好みせず訪花するという印象を強く抱いた。今後さらにデータを集積していきたい。